



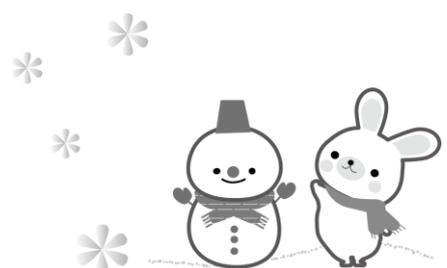
おにぎり通信

2011年2月19日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

先週末は都心でも雪が降ってしまいましたが、今日は二十四節気の雨水ですね。空から降ってくるものが雪から雨に変わり、雪融けが始まる頃だそうです。この冬は寒波の影響で大雪に見舞われた所も少なくなく、過疎化のために雪かきや雪下ろしの手がなくて困ってしまった人も多いようでした。雪かきボランティアの募集も自治体などをはじめ、幅広く行われていたようです。雪かきの経験がある方はご存知でしょうが、雪かきは体力を使う作業で、高齢の方にとってはなかなか大変な事ですね。とはいえ力業でやっつけようと思っても、体力を使うばかりで大変なわけです。若者の体力と経験豊富な高齢の方の知恵が結びつくと、効率良くスムーズに事が運ぶものです。これは雪かきだけでなく、他の事でも同じでしょうか。

お互いが足りないところを補い合って、物事を解決したり、物を創造したり、そんなシステムが社会のあちこちに行き渡れば、無縁社会などという言葉も消え去るかも知れませんね。



次回の福祉行動:2月21日(月)、待ち合わせ場所は東京駅丸の内北口。

(「東京駅丸の内北口」と書いてある看板の下、丸の内警察署東京駅交番近

くの『びゅうプラザ』前)朝8時半までに集合です。

病気やケガの治療を希望される方や、体を休めたい方と一緒に福祉事務所まで、ボランティアが同行いたします。福祉行動は原則として毎週月曜日に行います。福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと福祉事務所に伝えることにより成り立ちます。

最寄の福祉事務所

中央区福祉事務所・・・中央区築地 1-1-1 中央区役所4階
千代田区福祉事務所・・・千代田区九段南 1-2-1 3階

厚生労働省は5日、2011年度から生活保護受給者を対象に新薬より低価格のジェネリック医薬品（後発医薬品）を利用するよう指導を強化する方針を決めた。11年度からレセプト（診療報酬明細書）のオンライン請求が義務化されるのに伴い、受給者の医薬品の利用状況を把握。特別な理由なく新薬を使っている場合、医療機関や地方自治体を通じて後発医薬品を使うよう指導する。

厚労省は後発医薬品の利用促進により、増加傾向にある生活保護費の抑制につなげたい考えだ。生活保護受給者数は長引く不況の影響により、昨年11月時点で約197万7000人。09年度の支給総額は3兆72億円と初めて3兆円を超えた。医療費補助は生活保護総額の約半分を占める。しかし、現在は生活保護受給者がどれだけ後発医薬品を利用しているか正確に分かっていない。そのため、レセプトのオンライン請求を通じ、受給者にどういった薬が処方されたか実態を把握することにした。同じ効能の後発医薬品があるのに新薬を使う場合、主治医の意見を聞いた上で後発医薬品を使うよう受給者に理解を求める。

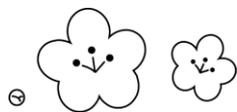
時事ドットコム 2/5 より抜粋

2008年には厚生労働省が、生活保護受給者に対しジェネリック医薬品を使うよう事実上の強制をする通知を出し、わずか3日後にはその通知を撤回するという出来事がありました。

新薬として開発された薬の特許権が切れた後、他の企業も自由にほぼ同じ成分の医薬品を作ることができるようになります。これをジェネリック医薬品といいます。既にある薬のいわばコピーなわけですから、そのぶん安価になるのです。けれども問題が全くないわけではありません。

ほぼ同じ成分で同等の品とされていても、製造工程や添加物などが異なるために、個人差があるものの効果に変化が現れる場合があります。また供給面での不安定さも指摘されています。

持病があるために長く飲み続けている薬をもしと変えるときには、副作用のことも含めて医師とよく相談することが大切です。今回の厚生労働省の方針は、強制ではありませんから、無理をする必要はないということです。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは必ずその日のうちにお早めにお召し上がり下さい。

四ツ谷おにぎり仲間 連絡先:090-4959-0652(岩田)